

旧(平成30年3月策定)

(6)子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

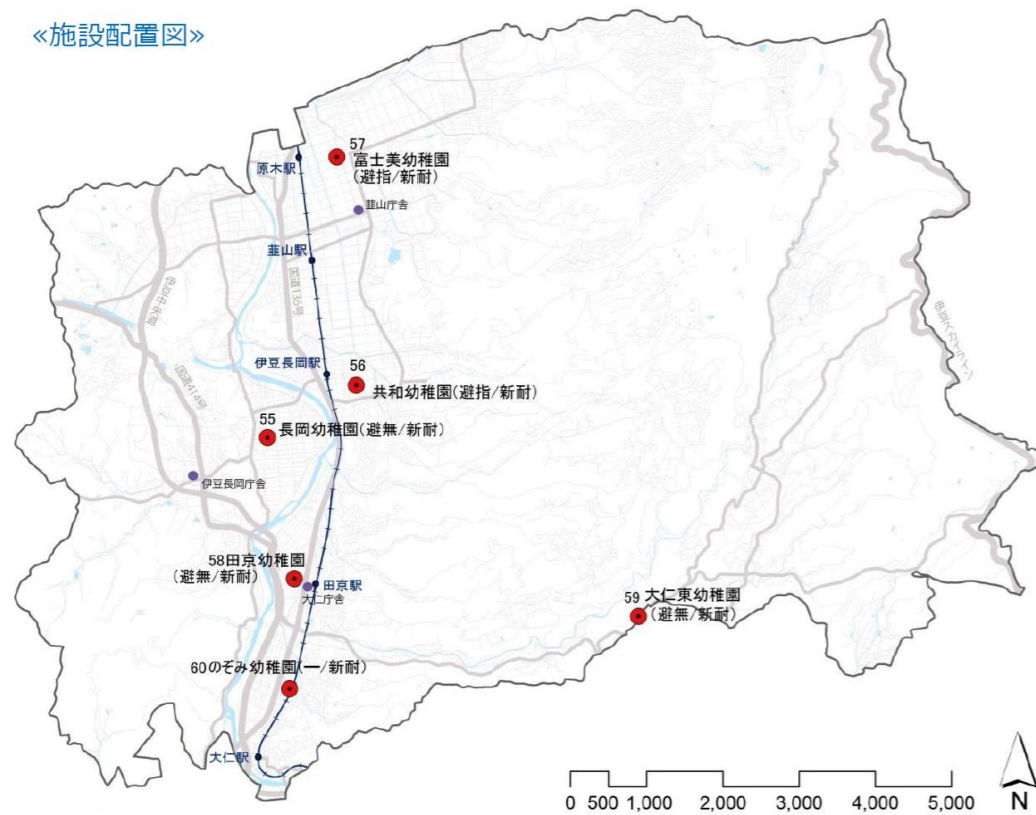
(6) 子育て支援施設

a. 幼保・こども園(幼稚園)

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	園児数/定員数(人) 2013~2015年度の平均	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
55	長岡幼稚園	4,840.00	1,596.00	—	6	全所有	直営	127/180	2,608,000	0
56	共和幼稚園	5,280.00	1,399.00	—	5	全所有	直営	112/180	2,276,000	0
57	富士美幼稚園	6,154.00	1,631.00	—	12	一部借地	直営	121/180	4,401,667	0
58	田京幼稚園	4,407.00	1,366.00	—	5	全所有	直営	86/180	2,037,000	0
59	大仁東幼稚園	3,249.00	453.00	—	34	一部借地	直営	9/80	1,406,000	0
60	のぞみ幼稚園	3,951.00	1,564.00	—	14	全所有	直営	71/160	1,924,000	0
		延べ床面積合計	8,009.00	公共施設全体に占める割合	4.66%					

《施設配置図》



凡例 ● 幼稚園
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新 耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

新(改定案)

(6)子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

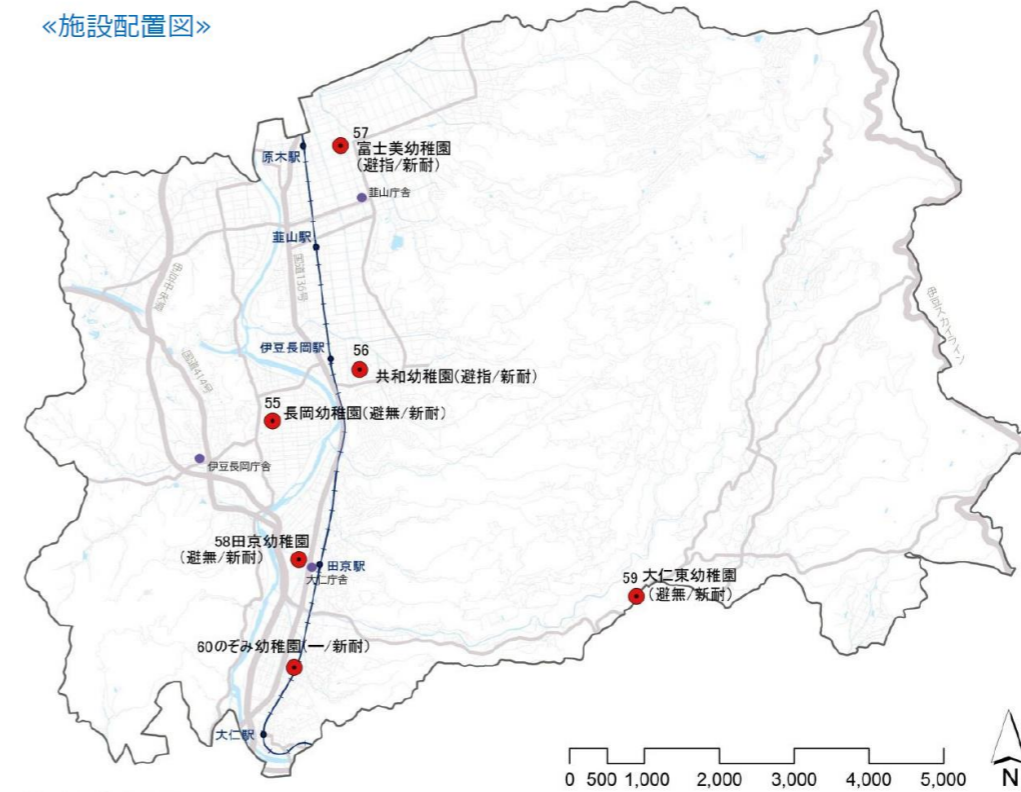
(6) 子育て支援施設

a. 幼保・こども園(幼稚園)

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	園児数/定員数(人) 2013~2015年度の平均	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
55	長岡幼稚園	4,840.00	1,596.00	—	6	全所有	直営	127/180	2,608,000	0
56	共和幼稚園	5,280.00	1,399.00	—	5	全所有	直営	112/180	2,276,000	0
57	富士美幼稚園	6,154.00	1,631.00	—	12	一部借地	直営	121/180	4,401,667	0
58	田京幼稚園	4,407.00	1,366.00	—	5	全所有	直営	86/180	2,037,000	0
59	大仁東幼稚園	3,249.00	453.00	—	34	一部借地	直営	9/80	1,406,000	0
60	のぞみ幼稚園	3,951.00	1,564.00	—	14	全所有	直営	71/160	1,924,000	0
		延べ床面積合計	8,009.00	公共施設全体に占める割合	4.66%					

《施設配置図》



凡例 ● 幼稚園
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新 耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

公共施設再配置計画見直し 新旧対照表 (6)子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

旧(平成 30 年 3 月策定)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

ア 施設の概要

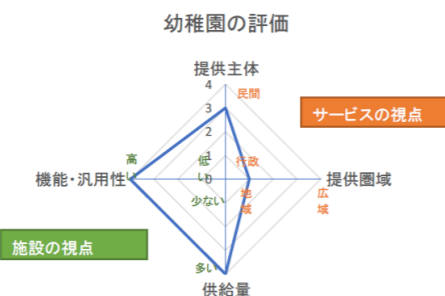
- ・幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として、市立幼稚園 6 施設を設置している他、私立幼稚園が 1 施設設置されています。
 «参考»
 〈私立〉在園園児数(2015(平成 27)年度末):寿光幼稚園 150 人(定員 200 人)
- ・いずれの施設も園舎(保育室、遊戯室、幼児用トイレ、事務室等)、庭(運動場)などで構成されています。
- ・ほとんどが定員割れで、供給過多となっています。

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・市立幼稚園の施設運営はすべて市の直営であり、今後は、多様なニーズに対応し、運営主体についても民間を含めた検討が必要です。	民間主体 (一部行政)
提供圏域	・小学校区ごとに立地しています。 ・基本的には、地域でのサービス提供が望ましいことから、今後は将来の地域の人口構成などを考慮し、官民でバランスのとれた施設配置を検討していく必要があります。	地域的
供給量	・幼稚園はほとんどが定員割れで、供給過多となっています。今後は「伊豆の国市立幼稚園及び保育園の在り方について」の検討などを踏まえて、質の高く適正な施設配置や規模などを検討する必要があります。 ・類似自治体の幼稚園と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約 1.6 倍と大きく、1 施設当たりの規模は平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。	多い
機能・汎用性	・幼稚園の教室や遊戯室などは、他用途での利用も可能であり、機能・汎用性は高いです。	高い

総合評価

提供主体と供給量、機能・汎用性で再配置の自由度は高く、提供圏域で再配置の自由度は低いです。全体として、多様な再配置手法を一定程度選択できる可能性が高いです。



新(改定案)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

ア 施設の概要

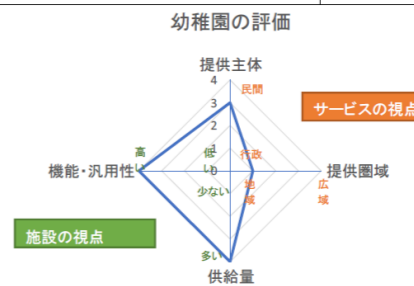
- ・幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として、市立幼稚園 6 施設を設置している他、私立幼稚園が 1 施設設置されています。
 «参考»
 〈私立〉在園園児数(2015(平成 27)年度末):寿光幼稚園 150 人(定員 200 人)
- ・いずれの施設も園舎(保育室、遊戯室、幼児用トイレ、事務室等)、庭(運動場)などで構成されています。
- ・ほとんどが定員割れで、供給過多となっています。

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・市立幼稚園の施設運営はすべて市の直営であり、今後は、多様なニーズに対応し、運営主体についても民間を含めた検討が必要です。	民間主体 (一部行政)
提供圏域	・小学校区ごとに立地しています。 ・基本的には、地域でのサービス提供が望ましいことから、今後は将来の地域の人口構成などを考慮し、官民でバランスのとれた施設配置を検討していく必要があります。	地域的
供給量	・幼稚園はほとんどが定員割れで、供給過多となっています。今後は「伊豆の国市立幼稚園及び保育園の在り方について」の検討などを踏まえて、質の高く適正な施設配置や規模などを検討する必要があります。 ・類似自治体の幼稚園と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約 1.6 倍と大きく、1 施設当たりの規模は平均と同程度となっています(※類似自治体の公共施設等白書、公共施設等総合管理計画より)。	多い
機能・汎用性	・幼稚園の教室や遊戯室などは、他用途での利用も可能であり、機能・汎用性は高いです。	高い

総合評価

提供主体と供給量、機能・汎用性で再配置の自由度は高く、提供圏域で再配置の自由度は低いです。全体として、多様な再配置手法を一定程度選択できる可能性が高いです。



旧(平成30年3月策定)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

ウ 再配置の方向性	
再配置の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを楽しく、子供を安心して産み育てられる環境を支える施設として、保育園、幼稚園、こども園を位置づけます。 ・幼児、未就学児を対象とした生活、学び、遊びなどの健全な育成、親を対象とした相談、幼児・園児の預かりなど、多様な保育機能を展開します。 ・災害時における乳幼児を有する家族に対応した避難場所として検討する必要があります。 ・施策的な面や安全面から、市が主導的な役割を担いながら施設の管理・運営を行い、継続的な施設維持を図ります。 ・今後は、民間の協力及び参加による管理・運営の検討も図ります。 ・市民文化系施設、保健・福祉施設、学校教育系施設、公園内の関連する施設などとの連携を図ることも必要です。

エ 再配置計画													
再配置計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策を念頭に、現状維持を基本とします。 ・但し、私立の幼稚園や保育園のこども園化の取組支援を行うとともに、私立の取組状況を踏まえ、よりよいサービスの向上が期待できる民間への移管を検討します。 ・大仁東幼稚園は、2017(平成29)年度末にのぞみ幼稚園に機能統合します。 <p>《再配置スケジュール》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)</th> <th>中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)</th> <th>後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大仁東幼稚園</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>のぞみ幼稚園</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>《凡例》 : 機能縮減等 : 機能統合・複合化等 : 民間移管 : 広域連携</p>	前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)	大仁東幼稚園			のぞみ幼稚園					
前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)											
大仁東幼稚園													
のぞみ幼稚園													
再配置にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・のぞみ幼稚園においては、大仁東幼稚園の園児を迎え入れる環境整備を図ります。 												
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th colspan="2">見込み値</th> </tr> <tr> <th>施設数</th> <th>延床面積</th> <th>施設数</th> <th>延床面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>8,009.00 m²</td> <td>5</td> <td>7,580.72 m²</td> </tr> </tbody> </table>	基準値		見込み値		施設数	延床面積	施設数	延床面積	6	8,009.00 m ²	5	7,580.72 m ²
基準値		見込み値											
施設数	延床面積	施設数	延床面積										
6	8,009.00 m ²	5	7,580.72 m ²										

新(改定案)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

ウ 再配置の方向性	
再配置の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを楽しく、子供を安心して産み育てられる環境を支える施設として、保育園、幼稚園、こども園を位置づけます。 ・幼児、未就学児を対象とした生活、学び、遊びなどの健全な育成、親を対象とした相談、幼児・園児の預かりなど、多様な保育機能を展開します。 ・災害時における乳幼児を有する家族に対応した避難場所として検討する必要があります。 ・施策的な面や安全面から、市が主導的な役割を担いながら施設の管理・運営を行い、継続的な施設維持を図ります。 ・今後は、民間の協力及び参加による管理・運営の検討も図ります。 ・市民文化系施設、保健・福祉施設、学校教育系施設、公園内の関連する施設などとの連携を図ることも必要です。

エ 再配置計画													
再配置計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策を念頭に、現状維持を基本とします。 ・但し、私立の幼稚園や保育園のこども園化の取組支援を行うとともに、私立の取組状況を踏まえ、よりよいサービスの向上が期待できる民間への移管を検討します。 ・長岡幼稚園は、現在の位置で長岡保育園と機能統合し、2024(令和6)年度から認定こども園として運営する予定です。 ・大仁東幼稚園は、2017(平成29)年度末にのぞみ幼稚園に機能統合します。 <p>《再配置スケジュール》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)</th> <th>中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)</th> <th>後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長岡幼稚園</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>のぞみ幼稚園</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大仁東幼稚園(平成29年度統合) ※文書庫として使用</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>《凡例》 : 機能縮減等 : 機能統合・複合化等 : 民間移管 : 広域連携</p>	前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)	長岡幼稚園			のぞみ幼稚園			大仁東幼稚園(平成29年度統合) ※文書庫として使用		
前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)											
長岡幼稚園													
のぞみ幼稚園													
大仁東幼稚園(平成29年度統合) ※文書庫として使用													

旧(平成 30 年 3 月策定)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

他自治体の取組事例

町立幼稚園の統廃合により私立幼稚園を誘致 (神奈川県大磯町)

【施設概要】

施設名称：私立こいそ幼稚園
 延床面積：— m²
 建設年度：平成 24 年 4 月学校法人小磯学園に移管



↑写真上 旧町立小磯幼稚園

【再編内容】

平成 16 年(2004 年)に幼稚園教育プロジェクトを立ち上げ、統廃合や民営化等について検討。平成 20 年(2008 年)に「町立幼稚園の将来構想」を定め、4 園あった町立を 3 園に削減。町立小磯幼稚園を民間移管し私立こいそ幼稚園を誘致。施設を引き継いで使用。



写真右 私立こいそ幼稚園→
 (右写真 Google ストリートビューより)

新(改定案)

(6) 子育て支援施設/a.幼保・こども園(幼稚園)

工 再配置計画

再配置にあつての留意点	・長岡幼稚園の認定こども園化については、今後の市民ニーズを踏まえ、適切な規模や機能による整備を図ります。			
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	6	8,009.00 m ²	6	7,992.69 m ²

他自治体の取組事例

町立幼稚園の統廃合により私立幼稚園を誘致 (神奈川県大磯町)

【施設概要】

施設名称：私立こいそ幼稚園
 延床面積：— m²
 建設年度：平成 24 年 4 月学校法人小磯学園に移管



↑写真上 旧町立小磯幼稚園

【再編内容】

平成 16 年(2004 年)に幼稚園教育プロジェクトを立ち上げ、統廃合や民営化等について検討。平成 20 年(2008 年)に「町立幼稚園の将来構想」を定め、4 園あった町立を 3 園に削減。町立小磯幼稚園を民間移管し私立こいそ幼稚園を誘致。施設を引き継いで使用。



写真右 私立こいそ幼稚園→
 (右写真 Google ストリートビューより)